

機での情報収集は高齢者や障がい者にとっても有効なことから、今後一層普及に努めていく。

### ◆市長の海外視察

**問** 市長は、10月16日から22日までフランスに出張したということだが知らなかった市民も多い。改めてであるが、海外視察の目的、随行者、同行者、及び経費などを明らかにするとともに、この視察を今後どのように活かしていくのか。

**答** 目的は研修生として派遣されている市内ワイナリー従業員の激励と地元自治体首長との会談であった。市産業政策課長が随行者、研修生派遣元の代表取締役と取締役、市内金融機関の支店長の3名が同行した。経費は市長及び職員で189万円余。世界最高峰のワイン産地と交流の糸口がつかめたので、今後出来ることからやっていく。

### ◆その他の質問

Uターン等の促進  
令和2年度予算編成

## 令和改進黨

質問者

青柳 充茂

永井 泰仁



持ち時間90分

## 空港を核とした構想 松本平シンボル ゾーンを

### ◆未来会社をどう読むか

**問** 人口減少社会は想定外の影響をもたらすのではないかと。自治体経営も変わらねばならない。競争から連携に、差別化から共同化へと、大きく舵を切るべきではないか。

**答** 超高齢社会、人口減少社会が地方自治体のあり方に極めて大きな影響を及ぼすだろうと認識している。本市が30年後も選ばれる地域であり続けるために計画的で持続可能な行政経営に取り組んでいる。



二つのインターチェンジがある塩尻市

### ◆松本平は一つになる

**問** 人口減少社会を乗り切るためには、松本平が一つになったらという視点と発想で自治体経営に取り組む必要がある。

**答** 今後の人口減少を背景に想定される大規模な自治体再編を見据えて、戦略的で柔軟性の高い行政経営が合わせて重要だと認識している。本市の強みや役割を検証し、広域圏域での連携のあり方を模索しながら取り組んでいく。

### ◆最新多目的ドーム型野球場の誘致

**問** 松本空港に快適に繋

がる道路網が整備され、松本平が一つの大きな社会インフラとしての魅力が備えれば、将来もしもの首都移転の受け皿ともなれる可能性がある。松本空港を核とし必要な施設を集積する言わば松本平シンボルゾーン構想だ。その中心に、最新多目的ドーム型野球場を誘致できればシンボルゾーンの目玉となるだろう。

**答** 現状では大変困難と考える。もし仮に、長野県宮野球場の建設計画があれば、県とともに大きな夢を描くことも地域の将来のためには必要だが、そうした計画が現在はない。



県内唯一の空港は塩尻市北西に位置している

### ◆(仮称)何でも気軽に相談室開設

**問** 未来のネット社会がどんなに便利になるとも、いつも住民に寄り添い問題を解決出来る人の支えが必要だ。市内各支所での退職職員の積極的な活用を提案する。

**答** 市は多様な人材の宝庫との認識のもと、現状でも市民課の暮らしの相談窓口、支所長や地区調整担当などで退職職員を活用している。

個人や地域の課題と一緒にやって取り組み、市と地域のパイプ役、相談役としての役割が果たせるような退職職員の活用を可能にする体制づくりを研究していきたい。

**要望** どんな種類の困りごとにも耳を傾け、経験を活かして実際に解決してあげられることが大事だ。各支所に2〜3人は配置し成果をどんどん上